



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東 大

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 若林 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 森 忠嗣

TEL 06-6365-8120

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	116,273	9.4	1,561	0.9	2,167	6.6	△1,930	—
23年3月期第1四半期	106,235	△7.6	1,548	△25.8	2,033	△34.4	836	△55.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △1,213百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,640百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△9.75	△8.82
23年3月期第1四半期	4.06	3.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	328,578	149,029	45.2
23年3月期	344,187	151,437	43.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 148,644百万円 23年3月期 151,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.25	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	237,600	7.3	2,400	△49.6	3,000	△43.5	△1,500	—	△7.57
通期	498,000	7.1	7,200	△31.8	8,100	△27.7	1,200	△61.4	6.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	206,740,777 株	23年3月期	206,740,777 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	33,313,558 株	23年3月期	450,757 株
----------	--------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	198,073,530 株	23年3月期1Q	206,312,716 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.4「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	
株式会社阪急阪神百貨店の業績について	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）における当社グループの業績は、株式会社阪急阪神百貨店において、本年3月に新規出店した博多阪急や阪急百貨店大井食品館などの売上が加わり増収となり、また、出店に伴うコストの増加を見込んでグループ全体で経費の効率化に取り組んだことが奏功し、営業利益・経常利益は前年実績を上回りました。一方、百貨店事業において人事制度改編に伴う特別損失として5,282百万円を計上したため、四半期純損失は1,930百万円となりました。

《連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	116,273	109.4
営業利益	1,561	100.9
経常利益	2,167	106.6
四半期純損失	△1,930	—

各セグメントの概況は次の通りです。

【百貨店事業】

今春相次いで商業施設が開業・増床し、事業環境が厳しさを増した大阪・梅田では、その影響を最小限に抑えるべく、阪急うめだ本店と阪神梅田本店での買いまわりの促進を図るため、本年春に阪神梅田本店の改装を実施するとともに、自社カード顧客に向けた営業施策を強化するなど、様々な取り組みを実施いたしました。その結果、両本店とも、自社カード顧客の売上高が前年実績を上回り、両本店をあわせた梅田事業での売上高前年同期比は97.6%（阪急うめだ本店97.1%、阪神梅田本店98.4%）と、期初に想定していたほどの落ち込みもなく、堅調に推移いたしました。

また、支店におきましては、引き続き西宮阪急が増収となるなど、既存支店ベースの売上高は前年同期比99.9%と、前年並みで推移いたしました。さらに、本年3月に開業した博多阪急及び阪急百貨店大井食品館の売上が加わったことにより、支店合計では前年同期比134.6%と大幅な増収となりました。

これらの結果、百貨店事業では、増収となりましたが、新店の減価償却負担が大きく、営業利益は前年を若干下回りました。

《百貨店事業の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	86,278	109.9
営業利益	964	90.5

【スーパーマーケット事業】

食品スーパーを運営する株式会社阪食では、対面販売の強化など新しい考え方を取り入れたプロトタイプ店舗への転換を進めております。当第1四半期においても、昨年度に引き続き、阪急オアシス尼崎潮江店など既存4店舗の改装を実施し、これら改装店舗が順調に推移いたしました。競合環境は依然厳しく、既存店ベースの売上高前年同期比は、98.7%となりました。

これらの結果、スーパーマーケット事業の業績は、以下のとおりとなりました。

《スーパーマーケット事業の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	22,438	99.9
営業利益	269	101.1

【PM(プロパティマネジメント)事業】

本年3月に開業した阪急大井町ガーデンにおいて、1,100室に拡大し開業したビジネスホテル「アローズイン阪急」では、3月こそ東日本大震災の影響を受け客室稼働率が低迷しましたが、4月以降はビジネス需要の回復とともに徐々に稼働率が向上し、施設を運営する株式会社大井開発の業績は、増収増益となりました。

また、それ以外の5社中4社の収益が改善した結果、PM事業の業績は、増収増益となりました。

《PM(プロパティマネジメント)事業の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	3,174	111.4
営業利益	345	246.0

【その他事業】

本年4月、九州で会員制個別宅配事業などを行う株式会社エブリデイ・ドット・コムを子会社化したことにより、その他事業は大幅な増収となりました。また、各社が引き続き経費の効率化を進めた結果、既存子会社19社中11社で営業利益が改善しましたが、持株会社である当社において、子会社からの受取配当金の減少などにより減益となった結果、その他事業の業績は、以下のとおりとなりました。

《その他事業の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	4,381	181.6
営業利益	442	75.7

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は328,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,608百万円減少しました。これは、設備投資の支払などにもない流動資産が14,269百万円減少したことによるものです。

負債合計は179,549百万円となり、前連結会計年度末から13,200百万円減少しました。これは、設備未払金の支払などにもない未払金が14,035百万円減少したことによるものです。

また、純資産は149,029百万円と前連結会計年度末から2,408百万円減少しました。これは利益剰余金が3,219百万円減少した一方、株式含み益の増加によりその他有価証券評価差額金が666百万円増加したことなどによるものです。

なお、自己資本比率は45.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、主力の百貨店事業の売上が期初予想を上回るとともに、グループ全体で経費の効率化に取り組んだ結果、連結業績が期初予想を上回りました。この結果を踏まえ、第2四半期累計及び通期の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日業績予想の修正に関するお知らせを公表しておりますので併せてご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,149	19,857
受取手形及び売掛金	18,995	23,294
有価証券	0	103
商品及び製品	14,829	16,529
仕掛品	80	91
原材料及び貯蔵品	687	643
繰延税金資産	4,279	5,957
未収入金	2,702	2,405
その他	2,667	3,242
貸倒引当金	△59	△63
流動資産合計	86,332	72,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,011	62,588
機械装置及び運搬具（純額）	1,432	1,518
土地	33,948	33,696
建設仮勘定	115	281
その他（純額）	6,396	6,192
有形固定資産合計	106,904	104,278
無形固定資産		
のれん	16,037	17,136
その他	7,506	7,171
無形固定資産合計	23,544	24,308
投資その他の資産		
投資有価証券	55,173	55,981
長期貸付金	2,569	2,574
差入保証金	56,248	56,294
繰延税金資産	10,624	10,126
その他	2,897	3,060
貸倒引当金	△105	△106
投資その他の資産合計	127,406	127,930
固定資産合計	257,855	256,516
資産合計	344,187	328,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,516	28,659
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	166	166
未払金	18,933	4,897
未払法人税等	1,692	286
繰延税金負債	3	0
商品券	20,444	20,962
賞与引当金	3,733	1,316
店舗建替損失引当金	1,564	375
店舗閉鎖損失引当金	689	689
人事制度改編費用引当金	—	5,282
資産除去債務	123	402
その他	18,523	22,335
流動負債合計	118,390	105,371
固定負債		
長期借入金	40,589	40,589
繰延税金負債	7,495	7,213
再評価に係る繰延税金負債	348	348
退職給付引当金	15,806	16,010
役員退職慰労引当金	107	107
商品券等回収引当金	1,770	1,762
長期末払金	1,804	1,890
長期預り保証金	6,268	6,059
資産除去債務	147	148
その他	20	47
固定負債合計	74,359	74,177
負債合計	192,750	179,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	37,172	37,172
利益剰余金	96,574	93,355
自己株式	△307	△308
株主資本合計	151,236	148,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	1,046
土地再評価差額金	42	42
為替換算調整勘定	△514	△460
その他の包括利益累計額合計	△91	628
新株予約権	232	232
少数株主持分	60	152
純資産合計	151,437	149,029
負債純資産合計	344,187	328,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	106,235	116,273
売上原価	76,297	83,781
売上総利益	29,938	32,491
販売費及び一般管理費	28,389	30,930
営業利益	1,548	1,561
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	546	546
諸債務整理益	357	360
その他	193	273
営業外収益合計	1,120	1,201
営業外費用		
支払利息	104	88
商品券等回収引当金繰入額	275	269
その他	254	236
営業外費用合計	635	594
経常利益	2,033	2,167
特別利益		
段階取得に係る差益	—	260
移転補償金	229	—
特別利益合計	229	260
特別損失		
人事制度改編に伴う一時費用	—	5,282
店舗建替関連損失	—	280
固定資産除却損	171	39
環境対策費	300	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	174	—
特別損失合計	646	5,601
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,616	△3,172
法人税、住民税及び事業税	216	149
法人税等調整額	569	△1,387
法人税等合計	786	△1,238
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	829	△1,933
少数株主損失(△)	△7	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	836	△1,930

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	829	△1,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,425	666
為替換算調整勘定	△45	53
その他の包括利益合計	△2,470	720
四半期包括利益	△1,640	△1,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,633	△1,210
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	スーパー マーケット 事業	PM事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	78,504	22,468	2,849	2,412	106,235	—	106,235
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	1,037	666	3,859	5,613	△ 5,613	—
計	78,553	23,506	3,516	6,272	111,849	△ 5,613	106,235
セグメント利益	1,065	266	140	585	2,057	△ 509	1,548

(注) 1. セグメント利益の調整額△509百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. お中元ギフトの売上計上時期の変更により、百貨店事業の売上高が2,708百万円、セグメント利益が424百万円及びスーパーマーケット事業の売上高が185百万円、セグメント利益が50百万円それぞれ減少しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準(企業会計基準17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分方法により区分すると次のようになります。なお、(株)ハートダイニング、(株)阪急製作所、(株)阪急アイウェア、(株)エヌ・ティ・イーは、従来「その他事業」に区分されておりましたが、平成22年4月1日に実施しました事業再編に伴い、当第1四半期連結会計期間より「PM事業」に区分変更しており、下記には当該変更を反映しております。

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	百貨店 事業	スーパー マーケット 事業	PM事業	その他 事業	計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上額
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	86,590	22,126	3,269	2,940	114,928	—	114,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	84	775	694	4,693	6,249	△6,249	—
計	86,675	22,902	3,964	7,634	121,177	△6,249	114,928
セグメント利益	1,521	184	291	1,027	3,024	△937	2,087

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	スーパー マーケット 事業	PM事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	86,278	22,438	3,174	4,381	116,273	—	116,273
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	1,023	876	3,919	5,868	△5,868	—
計	86,328	23,462	4,050	8,300	122,142	△5,868	116,273
セグメント利益	964	269	345	442	2,022	△460	1,561

(注) 1. セグメント利益の調整額△460百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

エブリデイ・ドット・コム株式の追加取得による同社の子会社化に伴い、「その他事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間よりのれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,340百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

株式会社阪急阪神百貨店の業績について

(1) 第1四半期の業績

(単位:百万円)

	平成24年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
売上高	85,952	109.9%
売上総利益	21,357	108.0%
その他の営業収入	376	103.0%
営業総利益	21,733	107.9%
販売費及び一般管理費	20,631	108.8%
営業利益	1,102	94.2%

(2) 店別売上高

(単位:百万円)

	平成24年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
阪急うめだ本店(注)1	28,025	97.1%
千里阪急	3,933	99.4%
堺 北花田阪急	2,285	98.6%
川西阪急	4,103	96.7%
宝塚阪急	2,067	97.9%
西宮阪急	5,271	109.5%
神戸阪急	1,929	90.6%
三田阪急	297	96.9%
博多阪急(注)2	9,299	-
有楽町阪急	2,052	100.5%
阪急百貨店 大井食品館(注)3	1,254	-
都筑阪急	1,786	98.1%
阪神梅田本店	21,409	98.4%
あまがさき阪神	831	101.1%
阪神・にしのみや	1,073	97.9%
阪神・御影	318	104.2%
店舗事業計	85,939	110.5%
広域事業	13	3.0%
合計	85,952	109.9%

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 平成23年3月3日開店

(注)3 平成23年3月16日開店

(3) 商品別売上高

(単位:百万円)

	平成24年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
衣料品	29,512	106.6%
身の回り品	13,559	115.1%
家庭用品	3,311	103.3%
食料品	26,619	114.7%
食堂・喫茶	1,988	102.7%
雑貨	9,909	106.9%
サービス	619	88.4%
その他	432	104.9%
合計	85,952	109.9%